学校番号	T1206

令和８年度　　工業科

教科	工業	科目	自動車の構造A	単位数	２単位	年次	２・３・４年次
使用教科書	自動車整備（実教出版）						
副教材等	「基礎自動車工学」　（日本自動車整備振興会連合会）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車とは現代に生きる我々にとって最も身近な交通手段のひとつであり、欠かせないものである。
自動車構造の講座では自動車の概要・構造・材料・機械要素・基礎的な原理法則などを学習し、模型・写真・図など視聴覚教材を通して、自動車の構造に関する基礎的な知識や技術を学習する。

本講座は後に学習する自動車構造Bおよび自動車構造Cをセットで履修し、学習することを前提とした講座となる。
授業は教室での座学を中心に行うが、実際に自動車工場において教科書に基づいて実車を見学することもあるので教科担当の指示を良く聞いて授業に参加すること。

評価は出欠状況、学習態度、提出物、定期考査などで総合的に評価する。

２ 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、安全で安心な自動車の提供に必要な資質を次の通り育成することをめざす。
（１）自動車について構造と機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につける。
（２）自動車に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身につける。
（３）自動車の付加価値を高める力の向上をめざして自ら学び、自動車産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につける。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識・観察の技能を習得している。	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に探究するとともに、学びに向かう力が身についている。	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に探究するとともに、学びに向かう力を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に五段階評価にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価基準	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
前期	自動車の概要と構造	自動車の定義 自動車の歴史 自動車の分類 自動車の構成 エンジンの原理 ガソリン・エンジン ジーゼル・エンジン 動力伝達装置 アクスル及びサスペンション	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、自動車構造の基礎的知識や役割を理解している。 b:学習内容に関する技能について、自ら思考・判断し、さらに進んでその技能を適切に活用できる。 C:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身に付けている。	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ 発表　等	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ 発表　等	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ 発表　等
後期	自動車の構造	ステアリング装置 ホイール及びタイヤ ホイール・アライメント ブレーキ装置 フレーム及びボディ 点火装置 計器及び警報装置 安全装置 付属装置	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、自動車構造の基礎的知識や役割を理解している。 b:学習内容に関する技能について、自ら思考・判断し、さらに進んでその技能を適切に活用できる。 C:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身に付けている。	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ 発表　等	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ 発表　等	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ 発表　等

※ 表中の観点について　a:知識・技術　　b:思考・判断・表現
c:主体的に学習に取り組む態度

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。